



「一人一人を大切に作る学校」に

校長 野口 直也

4月1日付で、北ノ台小学校に着任いたしました、野口 直也と申します。

学校の主役は、言うまでもなく、子どもたちです。学校という場所は、ともすれば集団に重きを置くようなイメージが先行しますが、その集団の中にいる一人一人は、育った環境も違えば、個性も全く違います。一人一人の子どもが大切にされ、その中で、豊かな心、確かな学力、健やかな身体が育まれていくのです。子どもたちが、「自分は誰からも大切にされている」と感じ、安心して学び合うことができる学校、「子どもたち一人一人を大切に作る学校」を目指してまいります。

私が北ノ台小学校に来て最初に感じたことは、「子供たちのあいさつが素晴らしい」ということでした。今まで様々な学校の子供たちを見てきましたが、これほどきちんとあいさつが習慣化している学校はありませんでした。登校時に校門に立っていると、みんな元気に「おはようございます」とあいさつをしてくれます。礼儀正しくきちんと立ち止まってあいさつをしてくれる子もいます。廊下ですれ違う時も、教室を見て回っている時もそうです。校長室の扉を開けておくと、わざわざ廊下で立ち止まって「こんにちは」「さようなら」と声をかけてくれます。子供たちのあいさつが、私をどれだけ癒してくれることか……。これだけあいさつの習慣がきちんと身に付いているということは、先輩たちから受け継がれてきた学校の伝統なのだな、と思うと同時に、まずは、家庭や地域での教育がしっかりと行き届いているからなのだな、と感じています。

今までと同様に、御家庭でも、地域でも、引き続き御協力をよろしく願いいたします。

(学校経営方針等は、トップメニュー「学校経営」コーナーをご覧ください。)